

各 位

上場会社名 東急リパブル
 代表者 代表取締役社長 袖山 靖雄
 (コード番号 8879)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経営管理本部長 渡辺 和雄
 (TEL 03-3463-3613)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,400	3,510	3,540	1,980	41.25
今回発表予想(B)	29,100	670	680	450	9.38
増減額(B-A)	△4,300	△2,840	△2,860	△1,530	――
増減率(%)	△12.9	△80.9	△80.8	△77.3	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	30,779	4,230	4,291	2,594	54.05

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	70,600	10,020	10,050	5,710	118.96
今回発表予想(B)	66,300	7,180	7,190	4,180	87.08
増減額(B-A)	△4,300	△2,840	△2,860	△1,530	――
増減率(%)	△6.1	△28.3	△28.5	△26.8	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	68,085	9,644	9,733	5,702	118.80

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,400	3,360	3,470	1,950	40.63
今回発表予想(B)	25,100	100	190	170	3.54
増減額(B-A)	△5,300	△3,260	△3,280	△1,780	――
増減率(%)	△17.4	△97.0	△94.5	△91.3	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	28,826	4,122	4,221	2,411	50.24

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	64,100	9,230	9,410	5,310	110.63
今回発表予想(B)	58,800	5,970	6,130	3,530	73.54
増減額(B-A)	△5,300	△3,260	△3,280	△1,780	――
増減率(%)	△8.3	△35.3	△34.9	△33.5	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	64,021	9,380	9,564	5,463	113.81

修正の理由

国内不動産流通市場は国内景気の不透明感による消費者の購入意欲の減退と不動産価格の高止まりにより、需給の価格ギャップが顕著となっております。また、サブプライムローン問題に端を発した金融市場での信用収縮を受け、主に不動産業者向けの融資が厳格化されたこと等により、事業環境が急激に変化しております。

このような事業環境の下、当社グループの当第1四半期の業績は主力の売買仲介業において、リテール及びホールセールともに不動産業者を対象顧客とした仲介取引が大幅に減少した為、当初の予想を下回る水準で推移いたしました。

当社は売買仲介業において、より一層の対応力の強化を図るとともに、販売用不動産の早期売却及び営業費用節減等の取り組みを行っておりますが、第2四半期連結累計期間及び通期の営業収益及び利益が減少する見込みであり、平成20年5月8日発表の業績予想を修正いたしました。

以上